

雨女

伊藤貴晴
作

【登場人物】

雨女
月読
蛙
農夫
村長
学者

【1】

プロローグ

全員、立っている。傘をさしている。

学者 カミサマがいた

村長 カミは世界をつくり、様々なカミを生んだ

農夫 三人のカミがいた

蛙 一人は、アマテラスカミといい、世界を光で照らした

雨女 一人は、アメフラスカミといい、世界に雨を降らせた

月読 一人は、ツクヨミといい、夜を司り、暦を救えた

雨女 それから永遠の時間が過ぎた

全員 それから永遠の時間が過ぎた

月読 アマテラスカミはいなくなつた

蛙 アメフラスカミは雨を降らせた

雨女 ツクヨミは月を救えた

農夫 世界に雨が降り注ぎ

学者 月の光が世界を照らした

村長 永遠が過ぎて、永遠が始まつた

月読 これは永遠が終わる頃の話

蛙 世界が終わる頃の話

雨女 雨が降つた

全員 雨が降つた

【2】

昼

とある村。雨が降っている。

雨女・蛙がいる。

雨女、靴を脱ぎ、靴下を脱ぎ、足の臭いを嗅いでいる。

雨女 くさつ。臭い

蛙 何してるの？

雨女 ねえ、ちよつとこれ臭いよ。強烈。どうしよう

蛙 何で臭い嗅いでるの？

雨女 濡れて気持ち悪いから全部脱いだんだけど。脱いたら嗅がない？ 足

蛙 嗅ぐかな？

雨女 嗅いでみなよ。ちよつとこれどうしよう。私の足だよ

蛙 そうだよ

雨女 私の足ってこんなに臭いの？ ショック。ねえ、嗅いでみて

蛙 嫌だよ

雨女 何で？

蛙 臭いんでしょ？

雨女 臭いよ。鼻がもげるよ。もげつてなるよ。ほら

雨女、靴下で蛙を叩く。

蛙 やめてよ。何か気持ち悪い

雨女 叩くとペチャって音がする。おもしろい

蛙 やめて。臭い

雨女 ずっと雨降ってるからさ、ずぶ濡れだね。水虫にならないかな

蛙 水虫ってどんな虫？

雨女 水っぽくてベタベタしててドロドロしてるゲンゴロウみたいな虫

蛙 そんな虫、見たことない

雨女 私もない

蛙 いるの？ そんな虫

雨女 いないと思う

蛙 ふーん

雨女 仕方ないから履くか

雨女、靴下と靴を履く。

雨女 雨って嫌い

蛙 何で？

雨女 だってジメジメするし、ベタベタするし、ドロドロするし、何か、嫌な気

蛙 分にならない？

雨女 僕、雨、好きだよ

雨女

蛙だもんね

蛙

うん、蛙だからね

雨女

何でこんなに雨降るか知ってる？

蛙

エミが雨女だからでしょ？

雨女

そうなの。私、雨女なの。でもね、雨降ってほしいなんて思っ
てないんだよ。勝手に降ってくるんだよ

蛙

雨女だからね

雨女

お姉ちゃんがいなくなるからいけないんだよ

蛙

お姉ちゃんって、ハルカ？

雨女

うん、ハルカ

蛙

ハルカ、晴女だよ

雨女

そう、晴女。お姉ちゃんがいればこんなに雨降らなくてすむのに

蛙

ハルカ、どこ行つたの？

雨女

分かんない

蛙

ふーん

雨女

早く帰ってきたらいいのに

蛙

うん

月読、登場。

月読

あれ？ 何やってんだよ、お前ら

蛙

こんにちは

月読

こんにちは

雨女

ちよつと、何でこつちに来るの？

月読

仕方ないだろ、雨降ってんだから

雨女

さつさと帰れば？

月読

そんなこと言うなよ。雨降つてると、みんなここに集まってくるんだよ

蛙

トモヒコ、何してたの？

月読

いたずら

蛙

いたずら？

月読

村長のところで、いろいろと

雨女

また怒られるよ

月読

大丈夫だよ。あー、早く雨止まないかな

雨女

それ、嫌味？

月読

そうだよ

雨女

さつさと帰れば？

月読

お前、怒ってばかりだよな

雨女

あんたの顔見ると怒りたくなるの

蛙

二人は仲良しだね

雨女・月読

仲良しじゃない

蛙

雨降つてると楽しいよね

月読

別に楽しくねえよ

蛙

僕、楽しいよ

月読

そりやお前、蛙だからな

農夫、登場。

よお、エミ

農夫

アキラ

雨女

こんにちは

農夫

お、蛙じゃねえか。相変わらず緑色だな

月読

よ、アキラ

農夫

ああ、トモヒコ、いたのか

月読

何だよ、冷たいな

農夫

ごめん、俺、男に興味ないから

月読

それ、ひどくね？

農夫

なあ、村長知らないか？

雨女

村長？ 見てないけど

農夫

何だ、いねえのか

月読

どうしたんだよ

農夫

いや、ちよつと用があつただけだ。エミ、何してんの？

雨女

蛙君と遊んでるの

農夫

ふーん、そっか

月読

俺にも何してるか聞いてよ

農夫

いや、お前に興味ないから

月読

そんなこと言うなよ

農夫 なあ、こんな所にいないで遊びに行こうぜ
遊びに？

雨女 お、いいな

月読 お前じゃねえよ

農夫 何だよ、いいだろ

月読 な、エミ。たまには気晴らしでもしないか？

農夫 雨だよ

雨女 気にするなよ

農夫 雨、嫌いだし

雨女 そんなこと言うなよ。何かしないとどんよりした気分になるだろ

農夫 どうせ私はどんよりしてます。雨女だからジメジメタベタしてます

農夫 そんなこと言ってねえよ

雨女 いいから放つといてよ

月読 振られたな

農夫 うるせえ

村長。登場。素敵な長靴をはいている。

村長 トモヒコヒコはいるか

農夫 あ、村長

村長 トモヒコヒコよ

蛙 こんにちは

村長 こんにちは。おい、トモヒコヒコ

月読 その呼び方やめてよ

村長 何だよ。お前の名前だろ

月読 トモヒコでいいよ

村長 名前に文句を言うな。で、俺の長靴をこんな風にしたのはお前か

月読 ううん

村長 お前だろ

月読 うん

村長 いい加減にしろ、馬鹿野郎。くだらないいたずらばかりしやがって

雨女 ほら、やっぱり怒られた

村長 これは気に入ったからこれでいいけど

月読 気に入ったんだ

雨女 それでいいの？

村長 もういたずらするなよ

月読 はい

農夫 村長

村長 何だ、アキラヒコ

農夫 それ、呼びにくいぞ？

村長 そんなことないぞ、アキヒコヒコ

農夫 何か変わった

村長 で、何だ、アキヒコ

農夫 短い

学者、登場。

学者 やあ、みなさんお揃いですね

村長 学者か

蛙 こんにちは

学者 こんにちは

農夫 ちようどよかった。相談があるんだけどさ

学者 何ですか？

村長 毎日雨ばかりで作物が育たないんだ。どうしたらいい？

農夫 ああ、それは困ったな

月読 お前、結構真面目に働いてるんだな

農夫 当たり前だろ

蛙 雨降ってるとダメなの？

農夫 太陽出ないと光合成できないだろ？

蛙 光合成って何？

月読 お前、光合成知らないの？

雨女 トモヒコ、知ってるの？

月読 知ってるよ

農夫 知らないだろ

月読 知らない

雨女 嘘つき

学者 光合成っていうのは、緑色植物が太陽光のエネルギーを用いて、二酸化炭

素と水から炭水化物を合成して、酸素を放出することですよ

へえ

つまり、どういうこと？

葉っぱとか緑色のところに光が当たると、栄養ができるんだ

そうだよ。分かったか

お前が言うな

太陽が出ないと作物が育たない。非常に困った状況だ

ねえ

何だよ

僕って緑色なんだけど、僕でも光合成できるかな？

間。

月読 雨が降らなきゃいいんだろ

それはそうなんだけどさ

それは多分きつと間違はなく私のせいだよ

いや、エミが悪いつて言ってるわけじゃないけど

いいよ、どうせ雨女だから

雨が降っても育てられる農作物を考えましょう

そんなことできるの？

何とかなるでしょう

しかし雨が降るのは問題だな。アメフラスカミよ

何？

雨降らすな

無理

即答だな

何とかならんのか？

何とかなるんだつたら最初からしてます

もうちよつと努力とかしろよ

努力って嫌いな

わがままだな、お前

農夫 ハルカがいれば何の問題もないんだけどな

雨女 私がなくなった方がよかった？

農夫 そんなこと言つてねえよ。ただ事実としてだな

雨女 でもお姉ちゃんがいた方がいいでしょ

農夫 それは比べられるもんじゃないだろ

優柔不断

お前、墓穴掘ってるな

うるせえ

ハルカはまだ帰つてこないんですか？

村長 このままじゃ世界の終わりだ。何とかして連れ戻せ

月読 でもどこに行つたか分からないよ

村長 それじゃ困るんだよ

雨女 そんなこと言われても

蛙 ハルカ、どうしていなくなったの？

間。

学者 そうだ、ちよつと見てもらいたい物があるんですけど

月読 何？

学者 これです

学者、傘を取り出す。

農夫 何だこれ？

学者 傘です

村長 傘？

学者 はい

村長 ただのステッキにしか見えないな

月読 ステッキ？

村長 なかなか素敵なステッキだ

蛙 素敵だね

農夫 素敵なのか？

雨女 違つよ、ステッキだよ

月読 でも素敵なんだろ

村長 そうだよ、ステッキだ
蛙 素敵だね

学者 ステッキではありません。これは傘です
雨女 何に使うの？

学者 さあ？
月読 さあって何だよ？

学者 古い文献を調べてたら、雨をしのぐ物だと書いてあったので、作ってみた
月読 んですけど、どう使うのかよく分かりません

農夫 おいおい、しつかりしてくれよ
村長 どうしたらいいんだ？

月読 これはやつぱり、叩いたりつついたりするんじゃない？
農夫 何がやつぱりなんだよ

雨女 凶器だ
月読 ほらほら

月読、農夫を傘でつつく。

農夫 やめろ、ガキじゃねえんだから
学者 やめてください、危ないですよ
月読 そしてこうやって斬る

月読、農夫を傘で叩く。

農夫 いたっ
月読 どうだ

雨女 それ、雨と関係ないよね
学者 ですね

月読 泣いて謝ったら許してやるよ
農夫 何だこのウストラトンカチ

月読 やるのか？
農夫 てめえの頭、叩き割ってやるよ
月読 やってみろ

月読・農夫、傘を構えて対峙する。

雨女 ケンカだ

学者 のんきにしてないで止めてください
村長 両者、見合って

学者 村長
村長 はっけよい

蛙、突然傘を開く。

蛙 うわっ

全員 え？
蛙 びっくりした

農夫 どうしたんだ？
学者 傘が開いてる

蛙 バンってなった。バンってなった
月読 何だこれ？

雨女 変な形
村長 なるほど、そういうことか

学者 分かったんですか？
村長 これはな、こうするんだ

村長、傘を逆さに持つ。

村長 こうすると上の部分に雨水が溜まってきて、だんだん腕がつかなくなる
月読 村長、それ多分違うと思うよ

村長 そんなことだろうと思ったよ。こうだな
村長、傘をひっくり返す。

村長、傘をひっくり返す。

村長 これで濡れない
全員 おー

村長 でも内側から何か滴ってくる

雨女 ひっくり返してたからでしょ
学者 なるほど。これは便利ですね
月読 俺もやりたい。どうするの？
蛙 ここを外す
月読 これ？

月読、傘の柄を持つ。

農夫 先端をこつちに向けるな
月読 でもこれ開かないよ
蛙 これを押す
月読 こう？

月読、傘の柄のボタンを押す。農夫の目の前で傘が開く。

全員 おお
農夫 何だかものすごく不愉快だ
月読 おもしろいな、これ
農夫 ちよつと貸して

月読、農夫に傘を渡す。農夫、傘を回す。

月読 おい、やめろよ
農夫 何で？
月読 水が飛ぶんだよ
農夫 ふーん

農夫、傘を畳み、月読に向けて開く。

月読 やめろって
蛙 僕にも貸して

農夫、傘をバサバサさせて蛙を追い立てる。

蛙 怖い、怖い、やめて
農夫 いいな、これ
学者 いいですか？
蛙 よくない
村長 これはいい。偉いぞ、学者
学者 ありがとうございます
月読 ねえ、これもらってもいいの？
学者 ええ、みんなの分がありますから。どうぞ

それぞれ傘を開く。

農夫 これ、便利だな
学者 雨でも濡れませぬね
蛙 おもしろいな、これ
雨女 そう？
蛙 おもしろい形してる
農夫 怖がつてたくせに
村長 蛙に傘はいらないんじゃないか？
蛙 いるよ。僕もこれ欲しい
学者 それは君の分だよ
蛙 もらっていいの？
学者 はい
雨女 よかったね
蛙 うん
月読 エミ、傘は？
雨女 え？
学者 エミの分もありますよ
雨女 いらぬ
学者 どうして？
雨女 私は雨女だから。私にはいらぬの
農夫 エミ
雨女 私、帰るね

農夫

待てよ、おい

雨女、農夫、退場。

村長

お前は追いかけてなくていいのか？

月読

何で俺が？

村長

照れるなよ

月読

照れてない

学者

何か気に障ったのかな

月読

素直じゃないんだよ、あいつ

村長

ハルカに遠慮してるんだろ。雨が降っても喜べない

蛙

エミ、ハルカが大好きだもんね

村長

晴れるのがいいのか、雨が降るのがいいのか

学者

雨が降って困るから傘をさす。でも、雨が降らないと傘が使えない。難しいなあ

【3】

夜

月が出ている。

蛙がいる。月読、登場。

月読

蛙か

蛙

こんばんは

月読

こんばんは

蛙

夜は雨降らないね

月読

そうだな

蛙

どうして？

月読

さあ？

蛙

トモヒコ、いつも何してるの？

月読

月を数えてるんだ

蛙

月を？

月読

そう

蛙

ひとつ

月読

え？

蛙

月はひとつだよ

月読

そういうことじゃない

蛙

どういうこと？

月読

暦を数えるんだ

蛙

暦？

月読

月の満ち欠けで年月を数えるんだ

蛙

へえ

月読

一年は何ヶ月？

蛙

十二ヶ月

月読

一ヶ月は何日？

蛙

三十日

月読

満月は何日目？

蛙

満月は十五夜だから十五日目

月読

うん。毎月十五日は満月だ

蛙

トモヒコ、今日は満月？

月読

いや、今日は十六夜

蛙

十六夜？

月読

新月から十六番目の月

蛙

十六番目

月読

満月を過ぎると月は順番に欠けていく。十六夜、立ち待ち月、居待ち月、

蛙

臥し待ち月、更け待ち月

月読

名前がいつぱいあるね

蛙

そうだよ。知らなかった？

月読

うん、知らない

蛙

一ヶ月は新月から始まるんだ。三日月になって、弓張り月になって、満月

月読

になる。それからまた欠けていく

蛙

おもしろいね

月読

おもしろいか？

蛙

どうしてそんなにたくさん名前がついてるの？

月読

寂しいからだよ

蛙

寂しいの？

月読 月が欠けていくのが寂しいから、毎日月を数えるんだ
蛙 トモヒコも寂しいの？
月読 別に、寂しくないよ
蛙 でも寂しいから月を数えるんでしょ？
月読 月を数えるのが俺の仕事だから
蛙 そっか

間。

蛙 ケロケロ
月読 何？

蛙 鳴いたんだよ

月読 ああ、蛙だもんな

蛙 夜は鳴きたくなるんだ

月読 そうなのか

蛙 ケロケロ

月読 楽しい？

蛙 楽しい

月読 ふーん

蛙 ねえ

月読 何？

蛙 ハルカはどうしていなくなったの？

月読 分からない

蛙 ハルカがいないからお日様が出ないんだよね

月読 うん

蛙 エミがいるから雨はつきり降るんだよね

月読 うん

蛙 トモヒコがいるから夜は月が出てるんだよね

月読 そうだよ

蛙 ハルカ、どこに行ったんだらう？

月読 分からない

蛙 戻ってこないの？

月読 分からない

蛙 分からないことばかりだね
月読 そうだな
蛙 ケロケロ
月読 戻ってくるのを待つてるんだ
蛙 待つてるの？
月読 うん
蛙 トモヒコはハルカを待つてる
月読 戻って来るか分からないよ
蛙 でも待つてる
月読 約束したから
蛙 約束？
月読 約束したから
蛙 待つてるって約束したから
月読 どれくらい経った？
蛙 え？
月読 ハルカがいなくなつて、どれくらい経った？
蛙 さあ？
月読 数えてるんでしょ？
蛙 数えられなくなっちゃった
月読 トモヒコは嘘つきだね
蛙 そうだよ
月読 エミ、寂しそうだよ
蛙 そうかな？
月読 トモヒコも寂しそうだよ
蛙 そんなことないよ
月読 夜になると泣きたくならない？
蛙 うん、なる
月読 泣く？
蛙 いや、俺は泣けない
月読 僕は泣くよ。ケロケロ。ケロケロ

【4】

昼

雨が降っている。

雨女、蛙がいる。

雨女 しとしと
 蛙 しとしと。ぎーぎー
 雨女 ぎーぎー。ぽつぽつ
 蛙 ぽつぽつ。ばしやばしや
 雨女 ばしやばしや。ぴちやぴちや
 蛙 ぴちやぴちや。さびさび
 雨女 さびさび
 蛙 どしやん
 雨女 どしやん
 蛙 どしやん？
 雨女 どどどどどどどど
 蛙 どどどどどどどどどど
 雨女 どんがらがっしやん
 蛙 どんがらがっしやん
 雨女 どろりんべっちよん
 蛙 どろりんべっちよん
 雨女 ざんざかざぶん
 蛙 ざんざかざぶん
 雨女 ぴちぴち
 蛙 ぴちぴち
 雨女 ちやふちやふ
 蛙 ちやふちやふ
 雨女 ぴちん
 蛙 ぴちん
 雨女 ちやぶん
 蛙 ちやぶん
 雨女 ちやぶん
 蛙 ちやぶん
 雨女 ちやふちやふ
 蛙 ちやふちやふ
 雨女 らん
 蛙 らん
 雨女 らん(※1)

蛙、傘をさしている。

蛙 いろんな音がする
 雨女 うん
 蛙 おもしろい
 雨女 傘、気に入ったんだね
 蛙 うん
 雨女 雨、たくさん降るね
 蛙 雨が降ると嬉しい
 雨女 よかったね
 蛙 うん
 農夫、登場。
 農夫 おつす
 雨女 アキラ
 蛙 こんにちは
 農夫 こんにちは
 雨女 こんにちは。村長見なかったか？
 農夫 見てないけど
 蛙 そうか
 農夫 どうしたの？
 蛙 見せたいものがあるんだけど
 月読、登場。
 月読 よお
 農夫 よお
 蛙 こんにちは
 月読 こんにちは。何それ？
 農夫 前に学者が言ってた、雨が降っても育てられる農作物を作ってみたんだけど
 月読 ああ、あれか
 雨女 何作ったの？

農夫 わさび

月読 わさび？

雨女 わさびって何？

月読 何だよ、わさびも知らないのか？

雨女 知ってるよ。わさびでしょ

月読 嘘つけ。知らないんだろ？

雨女 知ってるもん。わさびっていうのは、緑色で、表面が硬くて、ゴツゴツしてて、丸くて、これくらいいの、メロン

農夫 それ、メロンだろ？

雨女 うん、メロン。おいしいの

月読 わさびじゃないじゃん

雨女 じゃあ、トモヒコ知ってるの？

月読 わさびっていうのは、きゅうりの仲間だよ

雨女 そうなの？

農夫 違うぞ

雨女 嘘つき

農夫 お前らめんどくさいな

蛙 あ

農夫 何だよ？

蛙 メロン食べたい

農夫 いいか、これがわさびだ

農夫 農夫、わさびを出す。

農夫 このわさびは月の光で育つ

月読 月の光？

農夫 わさびの栽培で重要なのは綺麗な水がたくさんあること。昼間の雨水と、

夜の月の光で、このわさびはすすくすすく育つ

雨女 ふーん

農夫 でも問題がある

月読 何？

農夫 からいんだ、わさび

月読 からいのか

雨女 少しくらいからくても平気だけど

農夫 少しじゃない

雨女 どれくらい？

農夫 どれぐらいかって言われると

雨女 私の足の臭さと、どっちがからい？

農夫 同じくらいじゃないの？

雨女 それ、死ぬね

月読 それじゃ食べられないじゃん

農夫 だからこれはからくないわさびなんだ

雨女 からくない？

月読 本当に？

農夫 学者の言う通りに作ったから、そのはずなんだけど

蛙 食べていい？

農夫 ああ、いいよ

蛙、わさびを食べる。

蛙 おいしい

農夫 本当か？

雨女 私も食べる

月読 俺も

雨女、月読、わさびを食べる。

雨女 うつ、鼻にツンてきた

月読 からっ、何これ、からっ

農夫 からいか？

雨女 からい。すごいからい。これ食べられない

蛙 おいしい？

月読 おいしくねえよ。何だよこれ

農夫 ダメだな

雨女 涙出る。死にそう

月読 これ食い物じゃないだろ

農夫 馬鹿野郎。一生懸命作ったんだぞ

月読 じゃあアキラ、食えよ

農夫 俺はいらん

月読 何で？

農夫 からの苦手だから

蛙 大丈夫？

農夫 何でお前は普通に食えるんだよ

蛙 緑色だから

農夫 答えになつてねえよ

蛙 わさび、おいしいね

月読 何かむかつくなあ

雨女 鼻がもげつてなるよね

月読 もげつて何だよ

農夫 これじゃダメだな

雨女 うん、ダメ

蛙 ごちそうさまでした

農夫 お前、まだ食つてたのか

蛙 おいしかったよ

月読 何で平気なんだ

蛙 緑色だから

月読 答えになつてねえよ

農夫 学者の言う通りに作ったんだけどな

雨女 研究が間違つてるんじゃない？

農夫 そんな気がしてきた

月読 絶対そうだよ

村長、学者、登場。

学者 みなさんこんにちは

月読・雨女・農夫 おっと

蛙 こんにちは

学者 こんにちは。アキラ、わさびはできましたか？

農夫 なぜ知ってるんだ

学者 いや、できたかなと思っただけですけど

月読 できたよ

農夫 おい

学者 それはすばらしい

村長 早速食べさせてくれ

農夫 え？

村長 うまいんだろ？

学者 そりやおいしいですよ。研究を重ねて作った新しいわさびは、まろやかな

甘みの中にほのかなからさが光る、絶妙なバランス

本当だろうな。俺、からの苦手なんだけど

私の研究に失敗はありません。常識を覆す成果です

研究に失敗はないんだって

常識を覆すインパクトはあるけどな

あの、まだ試作段階で、あんまり自信が

味見はしたか？

いや、俺はまだ

何で食べない？ 誰か食べた奴、いないのか？

蛙君が食べたよ

村長 そうか。ケロヒコ

蛙 僕、そんな名前じゃないよ

わさびはどうだった？

村長 おいしかったよ

そうか。では俺もいたどころ

食べるの？

村長 食べる

農夫 本当に食べるの？

村長 食べる

農夫 やめた方がいいと思うけど

何だ、もつたいないから俺には食べさせたくないのか。俺だけのけ者なの

か

そんなことはないけどさ

村長 じゃあくれよ

蛙 どうぞ

村長、わさびを食べる。

学者 どうですか？

村長、うづくまる。

学者 どうしました？

村長 からい

学者 え？

村長 からいよ、何だよこれ。めっちゃめっちゃからいよ

学者 え？ そんなはずは

村長 からいじゃないか。常識を覆すからさだ。鼻がもげつてなつたよ

雨女 ほら、もげつてなるじゃん

学者 からいんですか？

月読 からい

蛙 おいしいよ

学者 おかしいな

蛙 食べる？

学者、わさびを食べる。

学者 これは

雨女 あれ？ からくないの？

学者 からいすね

月読 だろ？ からいだろ

学者 なんてこった

雨女 それだけ？

学者 何が？

月読 わさび、食べたよな？

学者 はい

月読 からくないの？

学者 からいです

村長 何で平気なんだよ

学者 いや、別に

農夫 変態だな

月読 変態だ

学者 いや、それほどでも

農夫 褒めてねえよ

村長 学者、どういうことだ、これは

学者 すみません、失敗してしまいました

村長 バカかお前。こんなにからいもの食わせやがって

学者 研究に失敗はつきものです

雨女 失敗しないって言ったのに

村長 今度やったらお前を緑色にするからな

蛙 仲間だね

学者 なんてこった

農夫 しっかりしてくれよ

学者 ちよつと研究やり直してきます

学者、退場。

村長 雨は全然止まないし、ろくなことがないな

月読 村長、大丈夫だよ。照る照る坊主作つといたから

村長 お前か

月読 何が？

村長 照る照る坊主を作つたのはお前か

月読 うん

村長 あれ、全部外してくれ

月読 え？ 何で？

村長 でかすぎだろ。怖いんだよ、あれ。こんなバカでかい照る照る坊主、木に

吊るしたら、誰かが首吊って死んでるみたいだろ

月読 あー、確かに

農夫 お前、何やってんだよ

月読 雨、止まないかなと思って

村長 しかも何個あるんだよ。そこらじゅうの木に吊るしてあるぞ。呪われた村

蛙 みたいになつてゐるじゃねえか
 村長 おもしろいね
 月読 おもしろくない
 村長 照る照る坊主は必要なんだよ
 月読 あんなでかいのは必要ない
 村長 でかい方が効果ありそうじゃん
 月読 いいから照る照る坊主外してこい
 村長 はーい
 村長 お前ら、手伝つてやれ
 農夫 何で俺が？
 月読 連帯責任だ
 農夫 連帯してねえよ
 雨女 私、邪魔しに行く
 月読 お前は来るな
 雨女 アキラ、手伝つて
 農夫 しょうがねえな
 蛙 僕も行く
 雨女 蛙君つてさ
 蛙 何？
 雨女 照る照る坊主に似てるよね？
 月読 そう言われてみれば
 農夫 確かにそうだな
 蛙 そう？
 月読 じゃあ、蛙、吊るしたらいいんじゃないか？
 農夫 そうだな
 蛙 やめてよ
 農夫 遠慮すんなつて
 村長 エミ
 雨女 え？
 村長 ちよつといいか
 雨女 先 رفتて
 月読 分かつた

月読、農夫、蛙、退場。
 村長 脳天気な奴らだ
 雨女 何？
 村長 お前は、世界が減ぶとしたらどうする？
 雨女 それは私にどうにかできる問題？
 村長 お前次第だ
 雨女 どうにかできるならどうにかする。できなかつたら諦める
 村長 ハルカは帰つてくると思つか？
 雨女 分かんない
 村長 エミ、お前がアマテラスカミになれ
 雨女 え？
 村長 アマテラスカミとアメフラスカミが別々である必要はない。むしろその方が不自然だ
 雨女 元々、私は必要なかつたつてこと？
 村長 そんなことを言つてるんじゃない。ハルカがいなくなったのは、お前とハルカとのバランスが崩れたからだろ
 雨女 ……
 村長 お前が何とかしなきゃいけないんだろ
 雨女 分かつてるけど、でも
 村長 何だ？
 雨女 お姉ちゃんがいないと困るよ
 村長 ……
 雨女 ごめん、ちよつと考えさせて
 村長 ああ
 雨女 蛙君いじめてくる
 雨女、退場。
 村長 カミサマなんてなるもんじゃないな

雨女

……

蛙

どうしたの？

雨女

ううん、何でもない

蛙

泣いてるの？

雨女

泣いてないよ

蛙

トモヒコ、泣いてた？

雨女

分かんない

蛙

僕、泣いていい？

雨女

え？

蛙

ケロケロ

間。

雨女

ねえ、蛙君

蛙

何？

雨女

蛙君って、何考えてるの？

蛙

みんな幸せになったらいいな

雨女

そんなこと考えてるの？

蛙

うん

雨女

変なの

蛙

そうかな？

雨女

蛙君は幸せ？

蛙

僕？

雨女

うん

蛙

自分のことってよく分からない

雨女

分かんないことがいっぱいだね

蛙

うん

雨女

私、みんなに嫌われてく

蛙

え？

雨女

お姉ちゃんにも嫌われたのかな

蛙

そんなことないよ

雨女

トモヒコも怒らせちゃったみたいだし
そのうち仲直りできるよ

雨女

蛙の王子様の話、知ってる？

蛙

どんな話？

雨女

魔法で蛙にされちゃった王子様がいたの

蛙

うん

雨女

王子様がお姫様を助けてあげて、蛙の王子様とお姫様は一緒に暮らすんだ

蛙

けど

雨女

あ、知ってる。お姫様が蛙を投げ飛ばすと人間に戻るんだ

蛙

……何それ？

雨女

あれ？ 違った？

蛙

違うよ。お姫様がキスをすると人間に戻るんだよ

雨女

そうだったよ

蛙

そっか

雨女

蛙の王子様は蛙だからお姫様に嫌われてるの。それでもお姫様の側を離れ

蛙

ないの

雨女

うん

蛙

嫌われてるのに側にいるって、つらいよね

雨女

そうかな？

蛙

違う？

雨女

好きな人と一緒にいられるって、幸せだと思わない？

蛙

私、そんな風になれない

雨女

でもエミは嫌われてるんじゃないよ

蛙

そう？

雨女

うん

蛙

蛙君はさ、蛙で嫌だっと思ったことはない？

雨女

え？ どうだろう？

蛙

みんな幸せになったらいい、か

雨女

雨女、蛙の頬にキスをする。

蛙

なりたい自分になれたら、幸せになれるかな

雨女

……

蛙

おやすみ

蛙
おやすみ

雨女、去る。蛙、立ったまま。

【6】 昼

月読、農夫、登場。

月読
いたか？

農夫
いない。そつちもダメか？

月読
ああ。どこ行ったんだ

村長、学者、登場。

村長
どうだ？

月読
いや、いない

村長
そうか

学者
どこに行ったんでしようね？

農夫
曇ってるな

月読
ああ、曇ってる

学者
太陽出ませんね

村長
雨も降らないな

農夫
ハルカもエミもないと、こうなるんだな

村長
いよいよ世界の終わりか

学者
やめてください

農夫
そうだよ。まだいなくなつたつて決まつたわけじゃない

村長
ハルカがいなくなつてから雨が止んだのは初めてだぞ

学者
それはそうですけど

農夫
トモヒコ、何か知らないか？

月読
何を？

農夫
エミに何があつたんだよ

月読
知らないよ

農夫
何で知らないんだよ

月読
何で怒るんだよ

村長
これがエミの出した答えか

月読
え？

村長
晴女も雨女もいなくなった。世界の終わりだ

学者
そんな

蛙、登場。

蛙
違うよ

月読
お前、何か知ってるのか？

農夫
エミはハルカを迎えに行ったんだよ

蛙
え？

学者
本当ですか？

蛙
多分

農夫
多分つて

蛙
でも、エミ、帰つてこないかもしれない

月読
どういうことだ？

蛙
トモヒコなら分かるよね

月読
……

蛙
僕、エミを捜してくる

蛙、退場。

蛙、退場。

農夫
どうするんだよ

月読
何が？

農夫
エミだよ

月読
蛙が捜してくるつて言つた。待つてるしかないだろ

農夫
それでいいのか？

月読
ん？

農夫
お前はそれでいいのかつて聞いてんだよ

月読
何だよ、それ

農夫 エミってお前のことが好きなんだろう？
月読 は？

農夫 知らなかったのか？

村長 知らなかった

学者 初耳ですね

農夫 外野は黙っててくれ

学者 会話に入れてもらえないみたいですよ

村長 寂しいな

農夫 お前、ハルカしか見てなかったからな

月読 ……

農夫 もうちよつとエミのこと考えてやれよ

月読 勝手なこと言うな

農夫 何でハルカを追いかけてなかった？

月読 ……

農夫 どうしてエミに気を遣った？

月読 ……

農夫 そういう半端な態度だから、二人ともいなくなったんだろ

月読 お前に関係ないだろ

農夫 ああ、関係ねえよ。俺がエミのこと好きだってことも、お前には何にも関係ねえよ

月読 ……

農夫 俺じゃダメなんだよ。エミは、お前が来るのを待ってる。行かないとハルカの時みたいに後悔するぞ

月読、退場。

農夫 そういうかわいそうなものを見る目でこつちを見ないでくれ

村長 そろそろ会話に参加してもいいか？

農夫 ああ

学者 アキラ、大変ですね

農夫 やめてくれ、何か空しくなる

学者 おせっかいですね、アキラは

農夫 あいつ、ちゃんとエミのこと見つけられるかな

村長 大丈夫だろ

農夫 何か、悔しい

学者 何が？

農夫 俺って何にもできないんだよ

村長 そんなことないぞ。お前は農業の神様なんだから。お前にはお前の役割がある

農夫 そんなもんかな

村長 そんなもんだ

農夫 村長って、何のカミサマだっけ？

村長 俺は、あれだよ。全知全能のカミだよ

農夫 全然そんな風に見えないけどな

村長 失礼な

学者 村長は世界を作るのが仕事だったんですよね

村長 ああ。世界を維持するのはお前らの仕事だ

農夫 さぼりか

村長 馬鹿野郎。何もしないで見てるっていうのは結構つらいんだぞ

農夫 うん

村長 だから信じるだけだ

農夫 信じる、か

村長 お前もちゃんと信しろよ。世界が終わるかどうかの瀬戸際だぞ

農夫 うん、分かってるよ

村長 それでいい

学者 学者って学問のカミサマだろ？

農夫 ええ

村長 蛙って何かのカミサマなの？

農夫 分かん

学者 分かん

農夫 きつと幸せのカミサマですよ

農夫 ああ、そうだな

【7】

夜

雨女がいる。月読、登場。

エミ

トモヒコ

月読 やつと見つけた。何でこんな山の上にいるんだよ

雨女 何しに来たの？

月読 迎えに来た

雨女 私、帰らないよ

月読 どうして？

雨女 私は知らない存在だから

月読 何言ってるんだよ

雨女 私はいたらいけないの。私がいたら、みんないなくなる

月読 そんなことない

雨女 お姉ちゃん、いなくなったじゃない。蛙君だって

月読 蛙がどうした？

雨女 ……

月読 なあ、どうしたんだ？

雨女 どうしよう。蛙君が死んじゃった

月読 嘘だろ？

雨女 嘘じゃないよ

月読 何があつた？

雨女 土砂崩れ。蛙君が迎えに来たの。私、帰りたくなくて、逃げて、蛙君が追

月読 いかけてきて、土砂崩れに流されて

雨女 どこだ？

月読 え？

雨女 どこで流された？

月読 教えないよ

雨女 何で？

月読 危ないから

雨女 でも捜さなきゃ

月読 無理だよ。埋まっちゃったもん

月読 分かんないだろ

雨女 トモヒコまで死んじゃったらどうするの

月読 そんなこと言ってる場合じゃないだろ

雨女 蛙君、来なきゃよかったのに

月読 何だつて？

雨女 蛙君、来なかつたら死ななくてすんだのにな

月読 本気で言ってるのか？

雨女 本気だよ

月読 嘘だろ

雨女 だって、何で蛙君が死ななきゃいけないの？

月読 ……

雨女 私のせいだ

月読 違う

雨女 私のせいでみんないなくなる

月読 違う

雨女 もう帰つて。蛙君は私が捜すから。トモヒコは埋まって死んじゃう前に帰

月読 つて

雨女 そんなこと言うなよ

月読 もう誰かがいなくなるのは嫌なの

雨女 俺はおまえがいなくなるのが嫌だよ

月読 嘘つき

雨女 ハルカに言われたんだ。妹を頼むつて

月読 お姉ちゃん、そんなこと言ったの

雨女 ああ

月読 お姉ちゃん、いつも人のことばかり。自分のことつて考えないのか

雨女 な？

月読 お前のこと大事なんだから

雨女 でも私のこと置いてった

月読 お前のためだよ

雨女 どういうこと？

月読 私がいちやダメなんだつて、あいつ言つてたよ

雨女 え？

月読 私がいると、あの子はいつまでも雨女だから、本当は私よりずっとすごい

雨女 力を持つてるのに、私がいるといつまでもひねくれたままだから
 月読 だからいいなくなったの？
 雨女 あいつの力が弱くなったたの、知ってただろ？
 月読 うん
 雨女 だからお前に託したんだよ
 月読 お姉ちゃんの代わりになれってこと？
 雨女 ううん。お前がお前らしく生きること
 月読 え？
 雨女 お前らさあ、もつと楽にしろよ。晴女とか雨女とか関係ねえじゃん。お互
 月読 いが自分の存在を呪ってるって、おかしいだろ
 雨女 でも、私、雨女だから
 月読 お前、ハルカのこと嫌いななの？
 雨女 そんなわけないじゃない
 月読 お前が幸せにならなきゃ、あいつは幸せになれない
 雨女 私だって同じだよ
 月読 知ってるよ。だから俺はハルカを待ってるんだ
 雨女 え？
 月読 ハルカが帰ってくれば、エミは喜ぶんじゃないかなって
 雨女 そんなこと考えてたの？
 月読 おかしいか？
 雨女 おかしい
 月読 何で？
 雨女 私と同じこと考えてる
 月読 どんな？
 雨女 お姉ちゃんがいれば、トモヒコは嬉しいだろうなって
 月読 何で俺のことなんか気にしてるんだよ
 雨女 お姉ちゃんはトモヒコのこと好きなんだよ
 月読 お前は？
 雨女 え？
 月読 いや、何でもない
 間。

月読 お前が帰ってこないよ、みんな悲しむよ
 雨女 トモヒコは？
 月読 俺も悲しいよ
 雨女 もつとちゃんと行ってよ
 月読 恥ずかしいんだよ
 雨女 ありがとう
 月読 え？
 雨女 迎えにきてくれて
 月読 蛙は明日みんなまで捜そう
 雨女 見つかるかな？
 月読 大丈夫、あいつ、蛙だから
 雨女 それ、何の根拠もないよね
 月読 そうかな？
 雨女 そうだよ
 月読 蛙を捜して、一緒にハルカが帰ってくるのを待とう
 雨女 うん
 月読 後のことはそれから考えよう
 雨女 うん。トモヒコはいなくならないよね？
 月読 うん。エミはいなくならないよな？
 雨女 うん
 月読 帰ろう
 雨女 うん

【8】 昼

雨は降っていない。
 蛙の墓がある。「かえるのばか」と書いてある。
 雨女がいる。

雨女 トモヒコ、あんたでしょ。お墓に落書きしたの

月読、登場。

月読 何だよ

雨女 これ、あんたでしょ

月読 違うよ

雨女 嘘つくな。バカじゃないの

月読 バカじゃないよ。バカはこっちだよ

雨女 ちゃんと消しといてよね

月読 はいはい

農夫、登場。

農夫 「かえるのばか」

雨女 トモヒコがやったの

農夫 バカかお前

月読 バカバカ言うな

農夫 ちゃんと消しとけよ

月読 はいはい

村長、学者、登場。

学者 いい天気です

村長 ああ、いい天気だ。うまいな、このわさび

学者 でしょ

村長 絶妙なあまから具合かくせになる

農夫 村長、見てくれよ、これ

村長 「かえるのばか」

学者 落書きです

雨女 せっかくお墓作ったのに

村長 「ケロヒコのばか」って書き直しておこう

農夫 ケロヒコじゃないだろ

村長 ケロヒコだろ

月読 違うよ

学者 何でしたっけ？

雨女 蛙君は蛙君だよ

月読 蛙って何て名前？

農夫 蛙

学者 蛙って名前なんですか？

雨女 そうだよ

村長 ケロヒコでいいじゃないか

雨女 よくない

月読 じゃ、村長の墓にしよう

村長 俺はまだ死んでないよ

農夫 書き直すぞ

村長 待て待て待て待て

学者 何だかにぎやかになりましたね

雨女 そう？

学者 ええ

雨女 やっぱり晴れてると気持ちいいね

学者 どうして晴れるようになったんでしょうね

雨女 分かんない

学者 分かんないんですか？

雨女 分かんないことがいっぱいあるんだよ

学者 そうですね

雨女 学者にも分かんないことある？

学者 ありますよ。たくさん

雨女 学者なのに？

農夫 ええ、学者なのに

村長 蛙君、本当に死んじやったのかな

月読 どうでしょう

雨女 でもみんなであんなに捜したんだぞ

村長 もう助からないだろう

月読 だからお墓作ったんだろ？

雨女 そうだけどさ

農夫 ま、ひよっこり出てくる気もするけどな

蛙、登場。

蛙
全員
雨女

ただいま

え？

蛙君？

遅くなりました。どうしたの？

蛙、墓を見る。

蛙

「かえるのばか」って書いてある

うん

月読

「かえるのばか」って書いてあるよ

農夫

うん

蛙

これ何？

農夫

墓だよ

蛙

墓？

月読

お前の墓だよ

蛙

僕、死んでないよ

農夫

死んでなかったら死んでないって言えよ

蛙

何で怒るの？

全員、蛙をもみくちやにする。

雨女

蛙君、生きてたの？

蛙

うん、生きてた

学者

どうして？

蛙

寝てた

村長

寝てた？

蛙

土砂崩れで流されて、地面に埋まって、そのまま寝てた

月読

ほら、蛙だから大丈夫だって言ったろ

農夫

寝てたのか、このバカは

雨女

相変わらずだなあ、蛙君

蛙

心配かけてごめんね

雨女

よかった、帰ってきて

蛙
雨女
蛙
月読

エミも帰ってきたんだね

うん

トモヒコ

何？

ハルカ、帰ってきた？

ううん

そっか

雨が降ってくる。

村長

雨だ

学者

でも晴れますよ

蛙

おもしろいね

雨女

うん、おもしろい

蛙

僕、雨好きだよ

雨女

私も好きだよ

学者

雨が降ったら傘をどうぞ

雨女

え？

月読

ほら、使えよ

雨女

うん、ありがとう

全員、傘をさす。

農夫

晴れてるのに雨って、変な感じだな

雨女

でも、悪くないよね

農夫

そうだな

蛙

あれ何？

雨女

え？

月読

虹だ

蛙

虹？

農夫

すげえ

学者

大きいですね

村長

あんなに大きなのは初めて見たな

蛙 きれいだね

雨女 うん

月読 エミ

雨女 何？

月読 もうどこにも行くなよ

雨女 それって愛の告白？

月読 違う

雨女 何だ、違うのか

月読 ところでさ、お前、雨、嫌いじゃなかったの？

雨女 好きだよ。私、雨女だから

全員、虹を見つめる。

終わり。

【参考】

・『古事記』

・『かえるの王さま』グリム童話

※1 『雨ふり』(童謡)